

Proof Chekcker PRO Ver.2b から 2c へのマイナーバージョンアップ詳細について

Proof Checker PROをご愛顧頂き、ありがとうございます。
09/05/22日付で、下記の修正を含むマイナーバージョンアップを行いました。
バージョン「2b」からのマイナーバージョンアップ詳細は以下の通りです。

◎新機能

● OS 共通

「時間短縮モードで起動」する機能を追加しました。

照合するPDFファイル内に同じオブジェクトが大量に存在する場合、どのオブジェクトと、どのオブジェクトを比較対照とするかを定める処理に時間が掛かり、照合時間が非常に長くなる場合があります。そのようなファイルを照合する際に「時間短縮モード」を活用すると、該当オブジェクトの照合を強制的に中止し、ファイル全体の照合時間を短縮することができます。

※照合の強制中止が行われたページには、全体に赤色の×印が付きます。尚、該当ページ内の淡色表示のオブジェクトは一致していることが保証され、元の色で表示されているオブジェクトは一致、不一致の判定が完了していないことを指します。

(ユーザーズマニュアル:表示について→「照合し切れなかった場合」を参照ください。)

※同じオブジェクトが大量に存在しないファイルの場合、「時間短縮モード」で起動しても照合時間は変わりません。

□ 時間短縮モード起動」操作方法

ProofCheckerPROの起動時に、『Windows版→ controlを押しながら起動』、
『Mac版→ comanndキーを押しながら起動』すると「時間短縮モードで起動します」というメッセージが表示されます。

(キーはダブルクリックするより前に押さえ、メッセージが表示されるまで押し続けてください)

◎改善点及び不具合修正

● OS 共通

- ページ同期に関するロジックを大幅に改良しました。
- 照合結果を保存し閉じた後、再度開くとエラーでファイルが開かないことがある不具合を修正しました。
- 文字列不一致の指摘及び、行送りの変更の指摘において、文字サイズが変更された場合の指摘方法を人間の目で見ても自然な照合結果に近づくようにソフトウェアのロジックやパラメータを改善しました。
- 文字サイズが特定の数字よりも小さい場合に、複数行を同じ行と反転していた不具合を修正しました。
- 特定の PDF で、ページ同期をとったが対応するページがない場合に、ナビゲートパレット→テキスト表記よりテキスト保存しようとする、強制終了する不具合を修正しました。
- 特定の PDF のデータ容量が非常に重い場合、ファイル読み込み時に特定のページまでしか読み込まない不具合を修正しました。
- Office2003 WORD のデータを PDF 化し照合すると、照合途中で強制終了することのある不具合を修正しました。
- 照合する PDF ファイルに非常に長いテキストが含まれている場合、照合中に強制終了してしまうことのある不具合を修正しました。
- ページの差異がある PDF ファイルを照合し印刷する際に、自動印刷で照合結果を印刷すると新ファイルのページ数分しか印刷されない不具合を修正しました。
- 特定の PDF ファイルで照合結果の罫線表示が太く表示される不具合を修正しました。

● Window 版

- ページの同期を取ったとき対応するページがない場合にナビゲートパレット→テキスト表記よりテキスト保存しようとする、強制終了する不具合を修正しました。

● Mac OSX 版

- MacOS10.5 で照合する際に、PDF ファイルの名称が長いと照合が開始されない不具合を修正しました。

以上